

まち Topics

トピックス

故郷への恩返しと傘寿の記念に

3月28日、城山公園で、東京六浦会による桜の植樹が行われました。

同会は、旧制白河中を昭和20・21年に卒業した方で構成されており、今回、故郷白河への恩返しと傘寿の記念に植樹を行ったものです。

六浦会の由来は、太平洋戦争中に勤労働員された際に、宿泊の寮があった横浜市の「六浦」という地名からつけたものです。



限りある資源のリサイクルとごみ減量化へ

3月30日、市役所で、「白河市における割り箸使用量削減に関する協定締結式」が行われました。協定は、市、飲食業事業者組合及び消費者団体などの間で締結され、県内では初めてのものです。

今後、割り箸からプラスチック箸などの繰り返し使えるリユース箸への切り替えを行い、ごみの減量化を図っていきます。



地域防災活動充実へ消防ポンプ車を譲渡

3月23日、住友ゴム工業(株)白河工場(双石)へ、消防自動車の引き渡し式が行われました。

今回、市消防団の車両更新に伴い、同工場へ消防ポンプ車両1台が無償譲渡されたものです。

同工場では、自衛消防隊を組織しており、今後、地域での消防活動に参加できる体制づくりに役立つとともに、防災活動の充実のために活用することが期待できます。



マイタウン白河に「高齢者サロン」

3月30日、マイタウン白河(本町)で、高齢者サロン「あったかセンター・マイタウン」の開所式が行われました。

この高齢者サロンは、市内4か所目で、毎月第2木曜日に開き、季節にあった行事や茶話会などを通じて、家

に閉じこもりがちなお年寄りに触れ合いの場を提供し、生きがいづくりに役立ててもらうために設置されたものです。

開所式には、本町や新蔵町などからお年寄りが多数参加し、季節の歌を歌ったり、介護予防のための健康体操などをしたりして楽しみ、充実したひとときを過ごしていました。

「ふくしま食の安全」取組宣言

3月30日、県南保健福祉事務所(郭内)で、相模ハム(株)白河工場(白坂)に、事務所管内では第1号となる、「ふくしま食の安全取組宣言登録店舗」の登録ステッカーが交付されました。

この制度は、食品の安全確保のため自主的な衛生管理を実践し、安全な食品を提供することで、消費者に身近に安全を感じてもらうことを目的としたものです。



登録ステッカーの交付を受ける小坂工場長(右)

「とうふ作り」を体験

3月26日、表郷小(表郷金山)で、「表郷わんぱくスクール(放課後子ども教室)」が開催されました。

今回は、平成21年度最後の教室として、「とうふ作り」の体験学習を行い、豆乳の状態から豆腐のできるまでを学習しました。

子どもたちは、もめん豆腐と絹豆腐の違いや食感の違いを楽しんでいました。



地域協議会・地域づくり協議会委員に委嘱状を交付

4月7日、本庁舎正庁で、第3期地域協議会委員・地域づくり協議会委員への委嘱状交付式が行われました。

地域協議会は、旧3村の区域ごとに、地域づくり協議会は、旧白河市の区域内に置かれています。各協議会の委員は15人で、各区域内で実施される様々な事務事業を審議するほか、市に対しての意見をいただきます。